

TAKE FREE
ご自由にお持ち
帰りください

地域と病院をむすぶネットワーク情報誌



No.32

2011.7
SUMMER
夏号



特集 —————
治療に活かす！栄養療法はじめの一歩 01

日本中で盛り上がる栄養サポートチーム
栄養サポートチームって何をするの？
栄養サポートチームはチーム医療
チームで学習、みんなで成長していくNST
求められる安全性と根拠

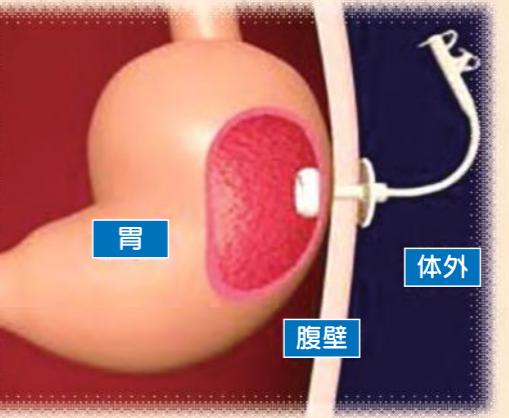
あつい夏 !!

4月に就職し、お互い様々な
部署で日々業務に励んでいます。
今年は節電もあって例年になく
“暑~い” 夏ですが、負けない
くらいの “熱~い” 情熱で
頑張っていきたいと思います！

健康のためのワンポイント	腰への負担を小さくしましょう	09
リレーインタビュー	笑顔のマイ★スター	11
病院情報	電子カルテシステム導入に伴い 受付の手順が変わりました	12
リレーエッセイ	副院長 北條 昌一	13
Information		

膣のうひとは

膣のうひとは、おなかに造る小さな口のことを指します。内視鏡を使って口を作る手術を行います。口から食事のとれない方や、食べてもおせ込んで肺炎などを起こしやすい方に、直接胃に栄養を入れる栄養投与の方法です。



膣のうひとは&A

Q. 膣のうひを入れたら
ずっとそのまま?

A. 口から十分に栄養が取れるようになれば、いつなくなるのでもふさがりなどができます。胃ろうをふさいだ後の穴も1日程度でふさがり、傷も目立たなくなります。

Q. お風呂は入れるの?

A. 入れます。進んで入浴し膣のうの周りを清潔にしてください。



Q. リハビリはしないもよ?

A. 支障はないので歩けぬ方は歩きましょ。車椅子も大丈夫です。



なすび 「僕は中学生の頃、膣腸炎で入院した、しまじら点滴をしていた」とあります。」

しみず 「膣腸炎だと吐き気があつたり、実際に吐いたら、下痢になつたりしましたよね。そういうと、食事が十分にとれなくなるので、点滴をすることになりました。」

なすび 「あのときは辛かつたなあ。でも、点滴をしつらねば、身体はすぐく楽になりました。」

しみず 「食べられないときも、栄養のじまとで始めた点滴をすむい」とむづの一人の役割のひとつです。」

なすび 「あと、膣のうひに向じつか?」

しみず 「あのうひは、口から食べられなくなつた人のために、お腹の表面から胃まで穴を開け、そこから栄養剤を入れるためにものだよ。」

なすび 「食べられないときも、点滴をすむい」とあります。」

しみず 「一時的に膣のうひを使って栄養状態を整えておいて、飲み込む機能を戻すためにリハビリテーションを行つてもらいたいですね。」

なすび 「…それは都えただけでも苦しむつですね。」

しみず 「まさしくその通り。やるけどたくさんあって、とても一人ではできません。患者さんの状態のチェックは看護師、薬や点滴のチェックは薬剤師、食事の工夫は管理栄養士、検査の詳細は臨床検査技師、飲み込みの訓練はリハビリテーション技師などそれぞれの役割があります。医師は、全体のバランスを見て、患者さんの方針を決めていきます。」

なすび 「みんなで力を合わせないと、チームがうまく機能していかない」と、このことは活躍でもあるんですね。」

しみず 「もううひですね。そのために毎日みんなで勉強会をしてこねたんですよ。」

なすび 「えつ! 勉強まだしてこねたですか?」



↑NST委員会のメンバーです。

栄養サポートチームは

チーム医療

なすび 「栄養サポートチームは言葉どおりチームなんですよね?」

しみず 「そうですね。医師に加えて、看護師や薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師など様々なメンバーで構成されています。」

なすび 「チームで患者さん(の栄養)をサポートする意味があるんだですか?」

しみず 「実は、栄養といつのは必ずしも難しい領域なんです。食事や点滴、膣のうひをただ行うだけではなく、患者さんの状態を把握したり、飲んでじる薬を調べたり、食べ物を柔らかくしてみたり、塩やタンパク質の量を調整したり、血液検査の結果を見て、今後の方針を検討したり、飲み込みの訓練をしたり、何かと忙しいんですよ。」

なすび 「うーん、それがいいと、チームがうまく機能していなうじ、この人は活躍でもあるんですね。」

しみず 「うひですね。そのため毎日みんなで勉強会をしてこねたんですよ。」

なすび 「えつ! 勉強まだしてこねたですか?」

なすび 「ええ!! みんな! とがだいめん入院した、しまじら点滴をしていたんだですか?」

しみず 「電力メータを使って膣のうひが作られるようになつてから、もう30年が経ちます。思つてころよつて安全にできるんですね。」

なすび 「うひはどんな人に作るのであります。」

しみず 「例えは、脳梗塞などで飲み込む機能が衰えている人です。食べ物をうまく飲み込めないと、食べ物が誤つて肺の方に落ちてしまつて、すぐに肺炎を起つたりしまわ。」

なすび 「…それは都えただけでも苦しむつですね。」

しみズ 「一時的に膣のうひを使って栄養状態を整えておいて、飲み込む機能を戻すためにリハビリテーションを行つてもらいたいですね。」

なすび 「…それが都えただけでも苦しむつですね。」

しみズ 「まさしくその通り。やるけどたくさんあって、とても一人ではできません。患者さんの状態のチェックは看護師、薬や点滴のチェックは薬剤師、食事の工夫は管理栄養士、検査の詳細は臨床検査技師、飲み込みの訓練はリハビリテーション技師などそれぞれの役割があります。医師は、全体のバランスを見て、患者さんの方針を決めていきます。」

なすび 「うーん、それがいいと、チームがうまく機能していなうじ、この人は活躍でもあるんですね。」

しみズ 「うひですね。そのため毎日みんなで勉強会をしてこねたんですよ。」

なすび 「えつ! 勉強まだしてこねたですか?」

チームで学習、みんなで成長していくNST

なすび 「わざわざこの「T」を行つのに勉強するなんたし大変ですね。」

しみず 「本当に済むなりたいのですが、僕らは医学部や看護学部、薬学部など、詳しい栄養の勉強をしたいなと思います。」

なすび 「えつ!? わうなんですか?」

しみず 「栄養の勉強をきちんと受けているのは栄養士くらいです。それでも、病気に合わせて適切な栄養を提供しようとと思うと、学校の勉強だけでは不十分なので、病院に就職してから必死に勉強をしている栄養士がたくさんいます。」

なすび 「いやあ…就職してからも勉強ですか…。僕は、この通り、高校の勉強でも音を上げていたので、耳が痛いです。」

しみず 「2010年11月には、一般的に開かれる市民公開講座も開催します。今年の11月にも開催する予定です。」

なすび 「ほく、みんな熱心ですねえ。」

しみず 「この病院以外からも人が集まるので、多いときには100人近くの参加者になります。」

しみず 「流行に乗つてこうねだけではなく、みんなで集まって勉強会をしちゃおむ。」

この病院以外からも人が集まるので、多いときには100人近くの参加者になります。」

しみず 「流行に乗つてこうねだけではなく、みんなで集まって勉強会をしちゃおむ。」

なすび 「やひ書いて下さるー読んでみたいと思います。」

しみず 「5年以内には書きたいと考えています。その本ができる頃には、なすびくんもこの病院で働いているかもしれませんね。」

なすび 「せひ書いて下さるー読んでみたいと思います。」



↑昨年行われた市民公開講座での講演のようすです。
多数の方々にご参加いただきました。
※今年も11月に行う予定です。



↑NST委員会では、毎月NST専門療法士を講師に迎え、NST実践研修を行っています。



↑5月に開催された当院のNST専門療法薬剤師・渡部義和薬剤師の講演のようすです。

下野新聞に掲載されました

NST委員会委員長の清水健一郎医師が栄養療法に関する本を出版し、下野新聞に掲載されました。

《新聞記事の抜粋》

済生会宇都宮病院糖尿病・内分泌内科の清水健一郎医師（31）は「栄養療法」の普及に努めており、このほど研修医向けに「治療に活かす一歩」（羊土社）を出版した。同病院の栄養士社）を出版した。同病院の栄養サポートチーム（NST）委員会委員長も務め、これまでの勉強成果をまとめた。専門性の高い内容だが、「栄養は入院患者すべてに関わる話。今後は一般向けの本を形にしたい」と話している。

小山市出身の清水医師は大学卒業後、2004年から初期臨床研修を始めた。その際の指導医が、薬だけに頼らず食事や点滴などで栄養摂取を治療に活かす栄養療法に積極的だったことから、同療法に興味を持つて取り組んでいた。

ただ、医学部や看護学校ではあまり教えないため、清水医師は「病院で一から教えるくてはいけない領域」と説明する。

2006年4月から同病院に勤務し、その年の夏からNST委員会に所属した。セミナーや名栄養



↑5月7日(土)の下野新聞20面

同病院のNST委員会は医師のほか、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士も加わる。最近の医療現場はチーム医療で取り組むケースが多いが、「チーム内の知識のギャップをなくすため、継続的なチーム学習が重要」（清水医師）といつ。

関連学会などに参加して得た知識を、定期的に開かれる院内の勉強会を通して広げてきた。昨年11月には一般市民向けに公開講座も実施した。

「一般向けも」と普及に意欲

清水医師は「一般向けも」と普及に意欲

なすび 「しみず先生、どこかで見たことがあります。僕は、この通り、高校の勉強でも音を上げていたので、耳が痛いんです。」

なすび 「しみず先生、どこかで見たことがあります。僕は、この通り、高校の勉強でも音を上げていたので、耳が痛いんです。」

しみず 「これまでやつてきたNSTの勉強会の内容をまとめたんです。栄養サポートについての分かりやすい入門書もなかつたので、思い切って書きました。」

なすび 「えつ! 本を出版したんですか!?」

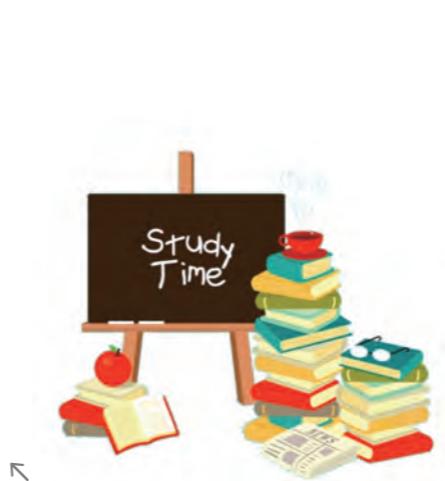
しみず 「これまでやつてきたNSTの勉強会の内容をまとめたんです。栄養サポートについての分かりやすい入門書もなかつたので、思い切って書きました。」

なすび 「勉強会の成果ですか。それなら、僕も読みだみよつかなあ。」

しみず 「病院で働く人向けなので、なすびくんたち一般の方には、少し難しいかも知れません。今、一般の方でも理解しやすいよつた本も書いつたと思つています。」

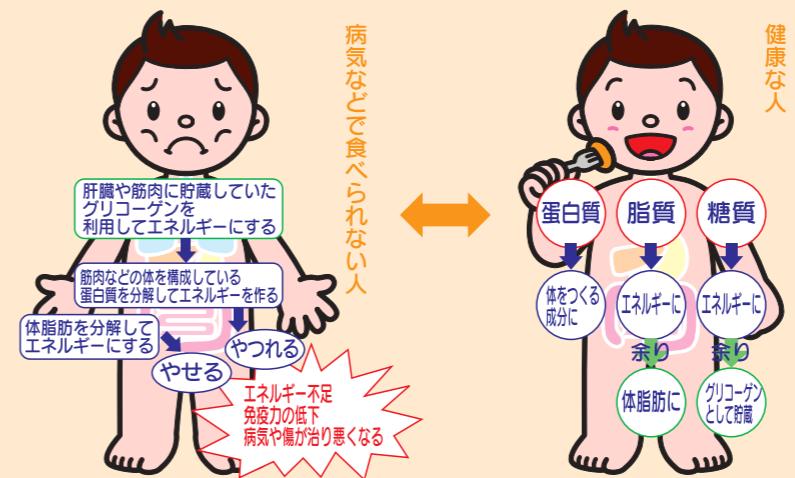
本を出版しました

本書は各分野の始まりに、Q&A方式で疑問を明確にしています。その上で、詳しく解説をしています。また、章末問題も設け、知識を習熟しやすいう工夫しました。



栄養管理はどうして重要?

健康な時には食べたものがエネルギーや身体を作る成分になります。余ったものは脂肪などの形で体内に蓄えられます。しかし、病気になつて食べられなくなることにより、栄養が不足していくと、このバランスがくずれて、筋肉などの身体を構成しているたんぱく質を分解して、エネルギーを作つていきます。まさに身を削るところのことです。



↑NST委員会ではNST実践研修の他、昼食時に勉強会を行い、栄養療法の知識を深めています。

求められる安全性と根拠

栄養不足状態になると次のようになります。

● 手術、やけど、外傷、床ずれ等の治癒の遅れや悪化

● 手術後の合併症の増加

● 免疫力の低下を引き起こす」とによる感染症の増加と悪化

● 次第に筋肉量が減少することによる日常生活動作および生活の質の低下

その結果、入院期間の長期化と死亡率の増加に結びります。これらの栄養不良状態を改善するためのNSTには、次のような役割があります。

● 入院している患者さま全員に対して栄養状態の評価を行います。そこで改善が必要な場合NSTが活動することになります。NSTが各病棟へ回診に行き、栄養管理が必要となつた患者さまに適切な栄養管理がされていれるかを評価します。そして、その患者さまにあつた栄養方法を指導し、提言をします。

なすび「小回の観察では、このトーナーとしている患者さんの栄養をサポートしているチームがあることが分かりて良かったです。やっぱり栄養でなすびですね。」

しみず「じいろが、いつもも言えません。栄養状態を良くする」と、みんながみんな必ず病気が良くなるわけではないからです。」

なすび「心配になりますか?」

しみず「最近は原発事故の放射線汚染による感染症の増加と悪化が、やはり安全性には細心の注意を払っています。例えば、栄養補給のためにサプリメントなどを内服するため、肝臓を痛めたりすることがあります。薬に限らず、栄養を補給するための製品でも、副作用が出ぬこともあります。」

なすび「やはり治療の基本は、薬であつたり、手術であつたりとづつ」とです。薬をきちんと飲み、手術が成功した上で、心地よく乗せ効果として、栄養療法があると教えていました。」

なすび「つまり、病気の治療もサポートしていけるわけですか。」

しみず「なすびさんといふことは、だから、普段からも頑張ってくださいね。」

なすび「ひえ。それは気を付けないとけないですね。」

しみず「栄養療法はこれからじっと普及していく分野だと考えていますが、闇雲に流行を追うだけでは危ないとも感じています。まず安全性をしっかりと確保して、その上で、治療を助ける確かな栄養療法を見極めて、患者さんに提供していきたいと思っています。」

なつたり、おしゃれ影響を及ぼすようなことはしないようにしないといけません。」

なすび「分かりました。興味を持つて取り組んでみます。しみず先生、今日はありがとうございました。」

なすび「あと10年もすれば、栄養療法がもっと医療現場に浸透していると思います。なすびくんも病院で働くつもりなら、勉強しておいて損はないと思いますよ。」

なすび「分かりました。興味を持つて取り組んでみます。しみず先生、今日はありがとうございました。」

筆者紹介



診療部 糖尿病・内分泌内科
清水 健一郎 医師
(NST委員会委員長)
《学会専門医等》
日本内科学会認定内科医
日本抗加齢医学会認定専門医
日本病態栄養学会認定病態栄養専門医
リスクマネジメント協会認定 GRMI CRM MRM



しみず「お疲れ様でした。なすびくん、これからも頑張ってください。」

なすび「お疲れ様でした。なすびくん、これからも頑張ってください。」



腰への負担を小さくしましょう

健康のための



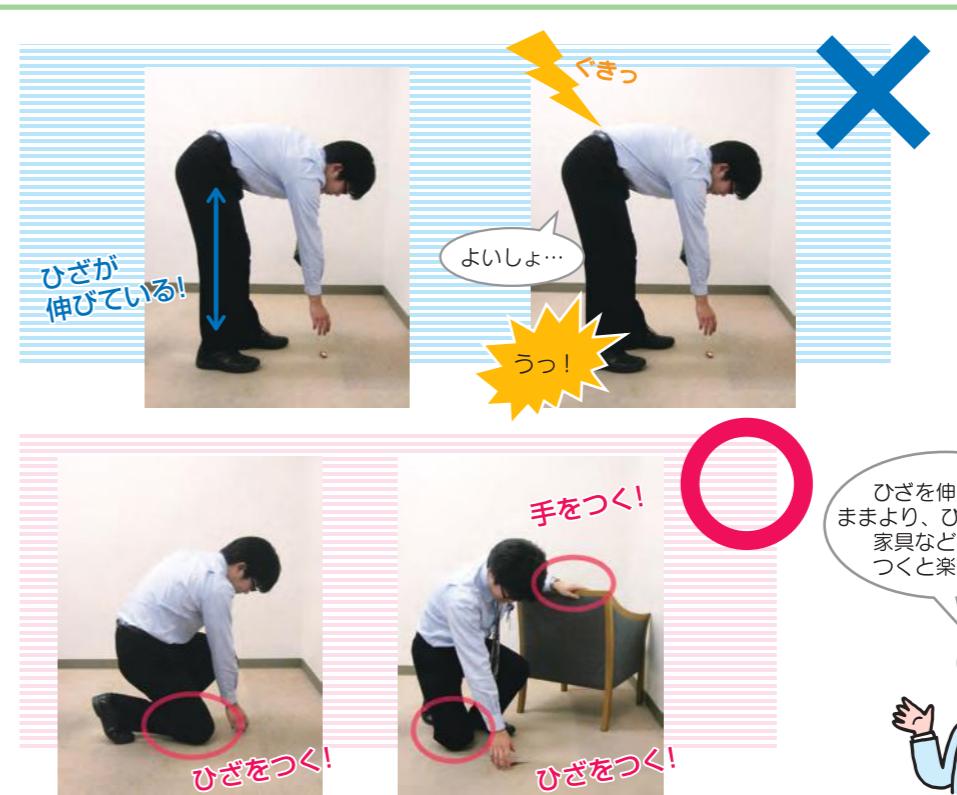
テーブルの上の鍵を取る場合

STEP 1

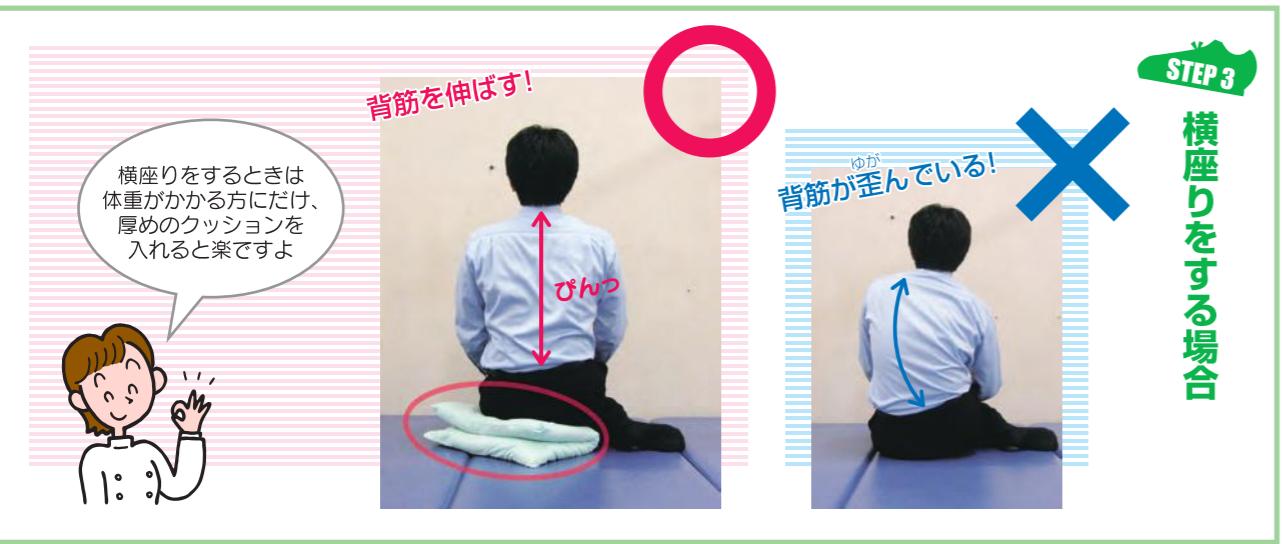


落ちた鍵を拾う場合

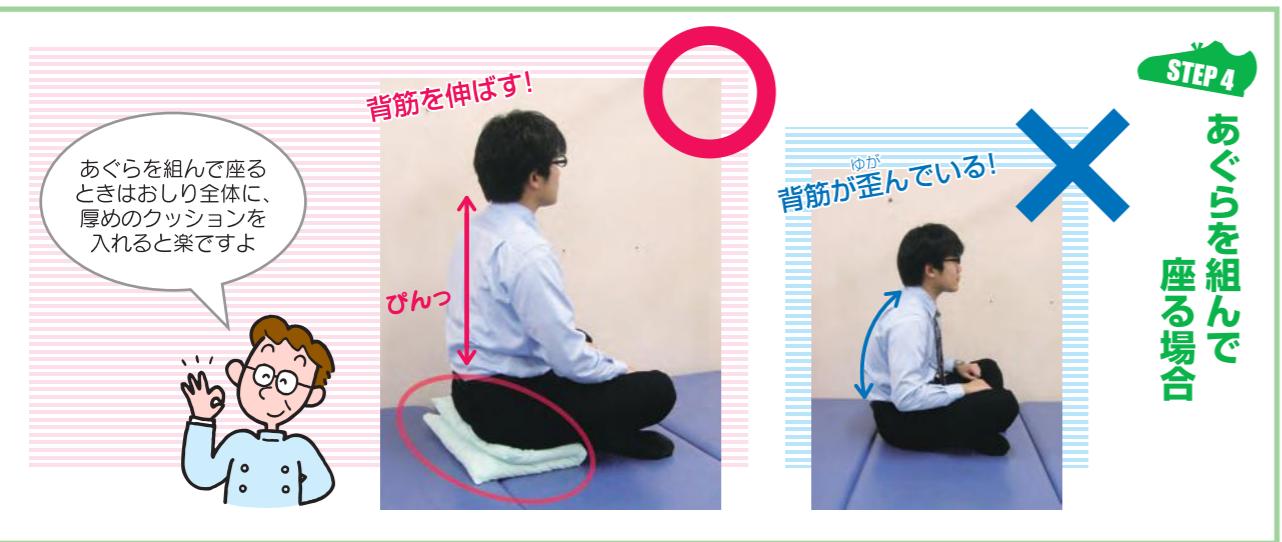
A green boot-shaped graphic containing the text "STEP 2".



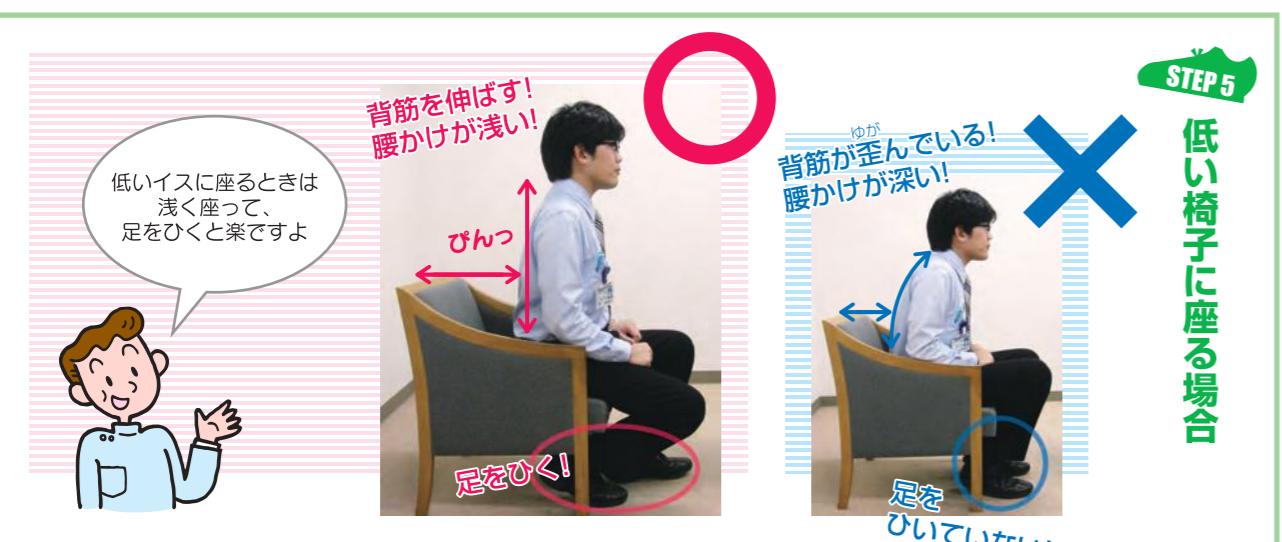
STEP 3 横座りをする場合



STEP 4



STEP 5 低い椅子に座る場合



「あっ！」
「ちょっと落ちてじるものを拾おうと思つたとき…
ちょっと座ろうと思つたとき…
腰に不安を感じた方、結構多いのでは？
そんなことにならないよう、腰への負担を軽減する姿勢…
（三つ巴）を勧めます。



笑顔のマイ★スター



↑写真中央が沼尾さんです。

『いつも笑顔で元気に働くのには何か秘密があるはず!』そう思って、笑顔の「匠」たちにそのヒミツをこつそり教えてもらっちゃいます♪

今回のマイ★スター

4階北病棟

沼尾 美津穂さん

8階西病棟
木之下 寿子さん

Q・看護師を目指したきっかけは何ですか?

A・小学5年生のときに、救急看護のドキュメント番組を見て「看護師さんってかっこいいなあ」と思ったのがきっかけです。看護学校に入学してからは、実習で1人の女性が出産を乗り越えて母親となつていく姿に感動し、助産師になりたいと思つようになりました。

Q・自分の勤務している病棟のいいところは、どんなところですか?

A・現在は※NICOU病棟に勤務しています。NICOUのスタッフは皆明るく、向上心がありまつは赤ちゃんとの病気のことや、困っているお母さんに対するケアについて、カンファレンスを積極的に行い、スタッフ全員でケアができるよう努めています。また、それぞれの得意分野を生かし、勉強会を開くなど、仕事熱心なスタッフが多いので、私も刺激を受けながら仕事に励んでいます。

Q・病院外の活動で頑張っていますか?

A・助産師会の先輩方と、地域で活動しています。産後のお母さんにハンドマッサージをしたり、赤ちゃんにベビーマッサージをしたりして、お母さんやご家族のお話からは病院では見えない退院後の育児生活がよくわかり、大変勉強になります。

Q・今後の目標は?

A・NICOUに配属になつたことで、赤ちゃんを通して、お母さんやご家族と関わる機会が増え、自分の未熟さを自覚する毎日です。助産師として、少しでも視野を広く持ち成長していくたいです。

※NICOUとは、低体重児や先天性の疾患がある新生児を集中的に治療する「新生児集中治療室」のことです。

れる後輩がいます。患者さまから感謝の言葉を頂いたなど嬉しいことがあります。みんなが喜んでくれ、時折開催される飲み会など楽しいことは、みんなで楽しんでいます。そのため、自分自身病棟スタッフに支えられて仕事をすることが楽しいと感じています。

患者さまにも、そんな8階西病棟スタッフのパワーを沢山吸収していただき、元気になつていただければ嬉しいです。



↑写真左が木之下さんです。

Q・入職して何年目ですか?

A・6年目です。

Q・自分の勤務している病棟のいいところは、どんなところですか?

A・私の勤務している8階西病棟は、主に婦人科・呼吸器内科の患者さまが入院されています。そんな私の病棟のいいところは、スタッフみんなの仲が良く、とても明るいところです。普段の患者さまとの関わりでは、どのスタッフを見ても笑顔が絶えません。

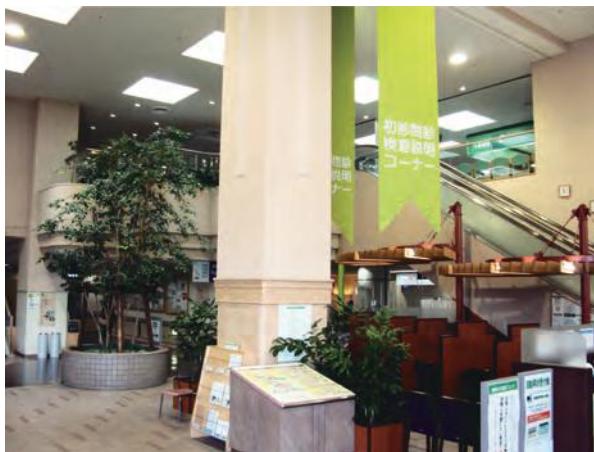
自分の思うように動けず後悔が残るなど、仕事で辛いことがあつたり、プライベートで落ち込むことがあったときは親身になって相談に乗ってくれる先輩がいて、励まして元気づけてくれます。

Q・今後の目標は?

A・多くの経験を積んで、高い知識や技術を身に付けていきます。そして何より、いつでも笑顔で、近くにいるだけで少しでも周りの人が元気になる看護師でいたいです。



受付の手順が変わりました



↑エントランスホールに新しく初診問診・検査説明コーナーができました。

クリアファイルの使い方



●機械の左側にクリアファイルを設置しておりますので、受付の際にお取りください。



●受付票はファイルの中へ、診察券はIDカードポケットへ入れてお持ちください。

平成23年1月より、当院は電子カルテシステムを導入しました。それに伴い、

自動再診受付機の位置、機械とともに新しく変わりました。
また、初診の患者さまの問診を電子ペーパンで取り込んだり、検査の説明を行う「初診問診・検査説明コーナー」や「車いすコーナー」が新たに設置されました。

院内専用クリアファイルの運用

自動再診受付機には、各機左手側面に「院内専用クリアファイル」が設置されています。受付をされた後、このファイルに受付票や検査用紙等を入れ、ファイルのIDカードポケットに診察券を入れて受診頂くこととなっています。お手数ですが、検査のみの場合も自動再診受付機で受付をお願いいたします。

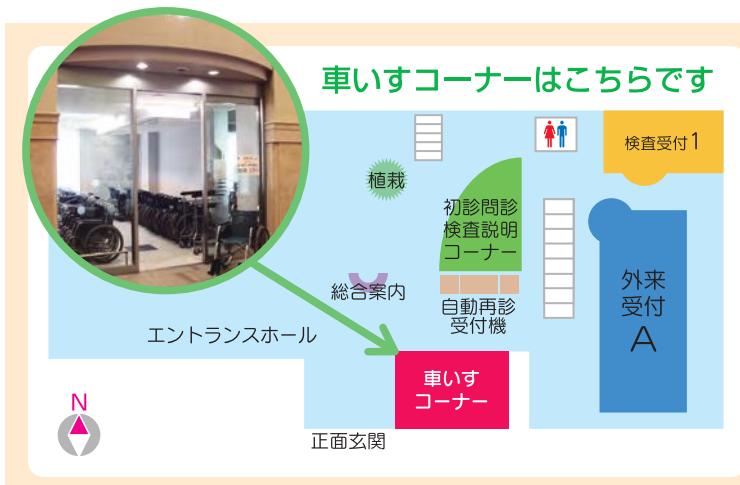
従来と手順が変わったことで、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、クリアファイルは、随時消毒を行つておりますのでご安心ください。



クリアファイルの持ち出しはご遠慮ください。

車いすコーナーは、来院される方に、より近く・少しでも利用しやすくなるよう、正面玄関となりに設置されました。ご自由にお使いください。またそれに伴い、フロアーショップは売店前に移転しました。

車いす「コーナー」ができました



永年おこなってきたスポーツも、時間的都合で参加できなくなつた。体を動かす機会が減り、足腰の力が落ちていくのをひしひしと感じるこの頃である。

最近の階段の上り下りで感じる筋肉の微妙な張りを、老化とは思いたくないし、数ミリの段差に引っかかるつま先、下りの階段の段差と、下りスピードに目がついて行けないのも老化とは思いたくない。

帰宅してからでも少し鍛えようと、薄暗くなつた自宅周辺を懐中電灯片手に散歩もしたし、ブルにも通つたが、以前のスポーツのような心身の満足感を得られない。

4月から孫が小学校に通つてゐる。学校まで、距離もあるし、脇道もあるし車の出入りも多い。交代で父母が付き添う他に、町内会の大先輩の方々が

少し早起きは三文の徳？
ボランティアで付き添つて
いる。さて私もやろう。
これが日課になつた。前
よりも30分早起きである。前
下の孫を補助輪付きの手
押し自転車に乗せて、集
団登校班と一緒に通学で
ある。

通勤は車。ラジオや音
楽を聴きながらの通勤で
ある。通勤では見えなかつ
たものが見えている。朝
の30分の散歩、体力増強
にはほど遠い、でもすが
すがしい。子供たちの「お
はよう」の挨拶。町内の「お
花壇の草とりをする人、
歩道のゴミを片付ける人、
土筆坊も見つけた。レン
ゲも咲いている。春も感
じるだろう。少しすれば夏も
感じるだろう。

少しの早起きで三文以
上の何かを見つけたよう
だ。あつそろそろ戻らない
と仕事に遅れる。



副院長
(兼)医療技術部長
北條 昌一

INFOR MATION 2

ホームページのご案内

当院ではホームページを開設し、さまざまな情報を提供しております。
みやのわバックナンバーも公開しております。



www.saimiya.com

INFOR MATION 1

一般外来診療のご案内

受付時間 **8:30～11:00**

※診療科により受付時間が異なる場合がございます。
また、ご予約の方はこの時間以降も受付ができます。

お盆休み期間中(8月13日～15日)も通常通り＊診療いたします。

＊土曜日午後・日曜日の一般外来は休診となります。
救急の患者様は救急外来にて対応いたします。

詳細は、ホームページまたは初診受付前設置の「診療部各科外来担当医師表」をご覧ください。

受診科がわからない場合には、1階エントランスホール「総合案内」の看護師にご相談ください。

INFOR MATION 3

東日本大震災 義援金のおしらせ

このたび東日本大震災により、被害を受けられた皆さま、そのご家族に、心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興をお祈り申しあげます。

当院では、被災地支援のために、院内各所に募金箱を設置し職員や患者さまからの募金を受け付けております。お預かりいたしました募金は、被災地の支援に役立てられます。

7月1日時点での募金総額は、**922,357円**です。

皆様の多大なるご協力誠にありがとうございます。なお、現在も募金を継続させていただいておりますので、引き続きご協力よろしくお願ひいたします。

※募金は下記の栃木銀行口座でもお預かりしております。

栃木銀行口座：栃木銀行本店 1024687

店番号 001

□ 座 名：済生会宇都宮病院東北地方太平洋沖地震 災害募金口
代表 高橋 努

東北地方太平洋沖地震 災害募金ご協力のおねがい

済生会宇都宮病院では、被害が甚大かつ広範囲に及んでいたことから、院内各所に募金箱を設置し、職員や患者様からの募金を受け付けております。募金は、被災地復興の為に使用させて頂きます。

募金は下記の栃木銀行口座でもお預かりしております。

栃木銀行口座：栃木銀行本店 1024687
店番号 001
□ 座 名：済生会宇都宮病院 東北地方太平洋沖地震 災害募金口
代表 高橋 努

ご協力の程、お願い申し上げます。

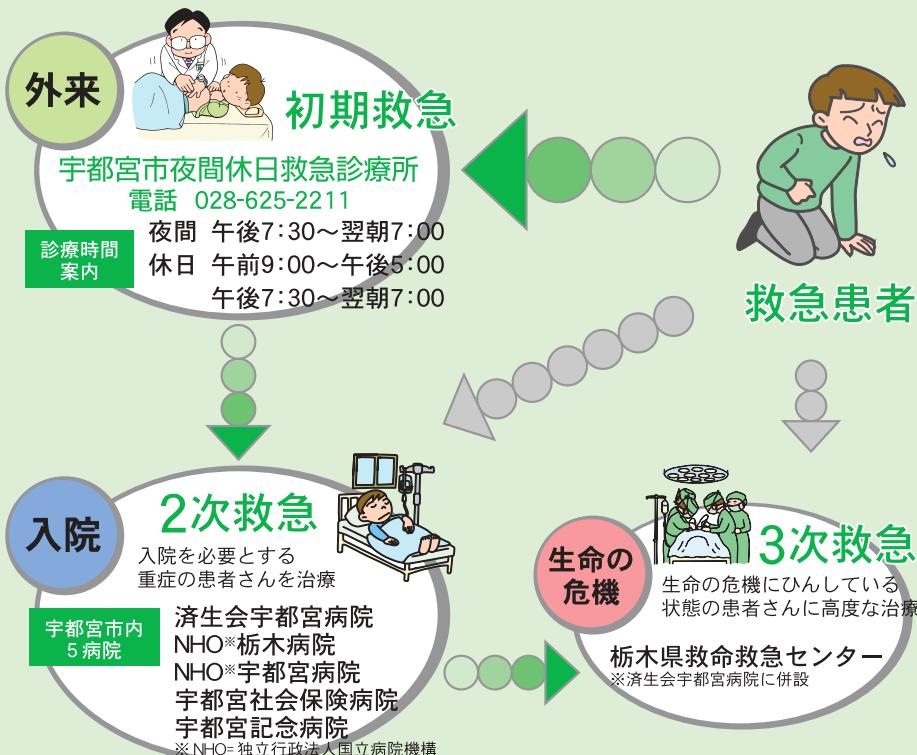


このたびの地震と津波によって被害に遭われた方々に心よりお見舞い申しあげます。

©済生会宇都宮病院

INFOR
MATION
4

栃木県からのおしらせ
救急医療体制のおしらせ



当院は
地域医療支援病院です

地域医療支援病院は、他の病院または診療所から紹介された患者さまに対して医療を提供していること、医療機器などを地域の医療機関と共同利用できること、救急医療を担っていること、地域の医療従事者のために研修を行っていること、などの役割があり、都道府県知事の承認を受けます。

当院は「地域と共に進化し続ける病院」のビジョンの下、急性期医療・救急医療を担い、ますます信頼される病院を目指していきます。

地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたいと考えています。1階ろよろ相談窓口では、緩和ケア認定看護師を中心とする看護スタッフが、がんに関するさまざまなお問い合わせに応じています。

INFOR
MATION
5

栃木県からのおしらせ

とちぎ子ども救急電話相談
028-600-0099
午後7:00～午後11:00(毎日)

お子さんの急な病気やけがで心配なとき、
ご連絡ください。
看護師が対応のアドバイスをいたします。



診療実績	平成23年3月	平成23年4月	平成23年5月
延外来患者数	32,116人	30,940人	30,717人
実入院患者数	1,269人	1,179人	1,181人
平均在院日数	13.9日	13.7日	14.2日
救命救急センター患者数	1,261人	1,216人	1,364人
救急車台数	456台	401台	443台
手術件数	494件	480件	484件

今年の夏は「クールビズ」ならぬ「節電ビズ」といった言葉が登場するなど、とにかく「節電」というキーワードを多く目にします。昨年の夏が記録的な猛暑だったことは記憶に新しいですが、今年も冷房の節約などにより暑さを感じる機会が多くなりそうです。つい節電のみに意識が向かってしまいますが、併せて早めの水分補給など暑さ対策にもしっかりと気を配り、健康的にこの夏を乗り切っていきたいと思います。

「みやのわ」32号をお読みいただきありがとうございます。今号が皆さまのお手元に届く頃には季節もすっかり夏を迎えているかと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。



ちょこっとメモ
世界ハートの日 9月最終日曜日
(9月25日)

心血管病(心臓病や脳卒中)は生活習慣との関係が深い病気です。世界ハートの日は世界心臓連合が2000年に提唱し、地球規模で心血管病の予防キャンペーンを行っています。食生活の改善や運動、禁煙による予防を奨励しており、日本でも健康なハート(心臓)づくりをテーマに各地でウォーキングイベントが開催されるなど積極的な活動が行われています。



URL : www.saimiya.com

清生会宇都宮病院理念

1. 医療サービス提供者として次の基本を守ります
 - ・安全で信頼性のある医療を提供します
 - ・医療を受ける方の権利と尊厳を尊重し、満足度の向上に努力します
2. 地域基幹病院として次の役割を果たします
 - ・地域医療の向上に貢献します
 - ・地域の医療福祉機関と密接に連携し、地域から頼られる存在になります

当院における患者さんの権利と責任

Rights & Responsibility

患者さんの権利 Rights

1. 個人として尊重され、適切な医療を受けること
2. 病気や治療の内容、および回復の可能性について、わかりやすい言葉や方法で説明を受けること
3. 手術や検査など重大な診療行為を受けるかどうかの判断に、必要かつ十分な説明を受けること
4. 医療に関する個人の秘密を保護されること
5. 痛みを和らげるために、原因に応じた適切な治療、ケアを受けること
6. 他施設の医師に意見（いわゆるセカンドオピニオン）を求めるこ
7. 医療に関する個人情報は保護され、プライバシーが守られること
8. 治療を継続するために、適切な医療機関の紹介を受けること
9. カルテ開示を求めるこ
10. 会計の内容について説明を受けること
11. 治療に納得がいかない場合は、自分の意思で退院すること
12. 診療行為において事故が発生した場合は、その内容を事実に基づいて、可能な限り詳細に説明を受けること

患者さんの責任 Responsibility

1. ご自身の病状について、正確に話していただくこと
2. ご自身の病気や医療行為の経過について気になる点があれば、スタッフに申し出ていただくこと
3. 同意された治療を受けるにあたっては、医療スタッフの計画や指示に基づき、療養していただくこと
4. 治療を受けない選択をされた場合、または医師の指示に応じない場合、それにより生じる医療上の問題には、ご自身の責任で対応していただくこと
5. 受けた医療に関する支払いには、速やかに応じていただくこと
6. 当院での入院治療が終了した場合には、医師の指示に基づき、速やかに退院または転院していただくこと
7. 他の患者さんや医療スタッフへの迷惑行為（大声、威嚇、暴言、医療行為の強要など）は行わないこと
8. 院内は禁煙のため、喫煙は院外の喫煙所を利用していただくこと
9. 面会時間、電子機器の取り扱いなど、院内の規則を守っていただくこと

当誌「みやのわ」では、読者の皆様からのご意見や感想をお待ちしております。

お名前等の個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿頂いても結構です。また、診療に関する個人的なご質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

はがき等の場合 〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1 清生会宇都宮病院 経営支援課
電子メールの場合 miyanowa@saimiya.com